

パナマ運河から荒川放水路へ

アラボラ講座 シリーズ 22

Del Canal de Panamá al Canal de alivio de inundaciones del Arakawa

駐日パナマ共和国大使館 公認講座



パナマ共和国
紋章



写真提供：パナマ運河両洋博物館

Photo : Courtesy of Museo del Canal Interoceanico de Panamá

民衆のために尽くした土木技師

青山士

日本人でただ一人

パナマ運河工事に参加

[要事前申込] 感染症予防対策のため受講には事前予約が必要です

企画・講師：清水弘幸

(青山士とパナマ運河研究者・土木学会正会員・荒川知水資料館委嘱ボランティア)

連絡先：03-3615-0811(月～金・午後7時～10時)

協力：荒川下流河川事務所

新たな視点で学ぶ運河の土木史と青山士

第1話:5/23 (日) 10:30~12:30

土木と文明と運河 [申込受付]5/7~5/19

土木が文明を生み文明が世界に運河を生んだ。エジプトの古代ナイル運河はスエズ運河を生んだ。フランスの元外交官ドゥ・レセエップが開通させ、地中海と紅海がつながり新たな歴史が始まった。それは次の運河へ助走路となったが…。



第3話:7/25 (日) 10:30~12:30

アメリカのパナマ運河 [申込受付]7/9~7/21

アメリカにはパナマ運河を必要だとする事情があった。また、青山士には2人の恩師である内村鑑三と廣井勇がいた。この2人が青山士をパナマに導いた。そして、「土木で国民を救う」という大志と気概はここで培われた。



第5話:9/26 (日) 10:30~12:30

「荒川放水路工事と荒川下流域治水の風景」

[申込受付]9/10~9/22

東京を水害から守ってきた荒川放水路。その建設工事とは。最高責任者として青山士。パナマ運河での知識と経験。「世の中を少しでもよくして去りたい」青山士の遺訓となる。

第2話:6/27 (日) 10:30~12:30

パナマ運河の始まり [申込受付]6/11~6/23

パナマ運河を「第2のスエズ運河」に。それがレセップスの夢であった。フランスが挑戦したパナマ運河建設とは。青山士が土木への道を歩み始めるのはそれから間もなくのことである。



パナマの墓地

第4話:8/22 (日) 10:30~12:30

「パナマ運河をつくったのはルーズベルト大統領だ」

[申込受付]8/6~8/18

一時は不可能とまで思われたが、アメリカの土木技術力と大統領の決断が20世紀最大土木事業と言われるパナマ運河を完成に導いた。そこにはただ一人の日本人である土木技師青山士がいた。異例の昇進を重ね、帰国後にその技術と経験が生かされ、功績を不滅のものにした。



掘削機上のルーズベルト大統領

第6話:10/25 (月) 12:00~15:00 (予定)

「荒川の治水を学ぶ」 [申込受付]10/8~10/19

災害対策支援船(あらかわ号)に乗船、荒川下流の治水の現場を体験する。

*大雨・強風・災害対応時は中止

*第6話の受講希望者は第5話の受講が必要

受講案内 **【事前申込制】** 感染症予防対策のため、受講には**事前予約**が必要です

会場 : 荒川知水資料館(北区志茂5-41-1)

対象 : 18歳以上(高校生不可)でアンケート記入にご協力いただける方(乳幼児同伴でのご受講はできません)

定員 : 15名(先着順)

受講料 : 無料(荒川知水資料館への入館も無料 **※館内見学には別途ご予約が必要です**)



申込メールアドレス

申込方法(事前申込制)

メールにてお申込みください(メールのご利用ができない方はお電話でのお申込みも可能です)

(1) 氏名、(2) 住所、(3) 電話番号をお伝えください

[メール] amoa@ecosys.or.jp (日本生態系協会 アラボラ講座申込係) ※申込受付は(公財)日本生態系協会に委託しています

[電話] (メールご利用ができない方) 03-5951-0244 (日本生態系協会 アラボラ講座申込係)

月~金 10:00~16:00(祝日は予約受付対応不可)

*複数名でご予約される場合には全員の氏名、住所、電話番号が必要です

*各回ごとの申込受付期間内にお申込みください

諸注意

荒天や自然災害、地域における新型コロナウイルス感染状況等により休講とさせていただく場合がございます。休講となる場合は荒川下流河川事務所ホームページ、ツイッターでお知らせします